

御前山ビオトープ周辺の植物等

日当たりのよい山野の林の縁などに生える落葉小高木です。花は筒形で、先が大きく裂けて平らに開きます。写真の赤い星形のはがく片で、果実は球形で藍いろをしています。春先の若葉は食べられます。また、果実は染料に使われ、ワラの灰汁で煮出した液で布を染めると浅黄いろになるそうです。名前は、枝や葉をちぎると強い臭いがあることによります。



(クマツツラ科 クサギ属)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

エントランス展示「西塩子の回り舞台のフスマ」

西塩子の回り舞台第7回定期公演に合わせて、文書館では、エントランス展示「西塩子の回り舞台のフスマ」を開催しました。

今年、西塩子の回り舞台は誕生から200年を迎えました。それを示すのが、舞台道具のひとつである大幕です。「文政三年」(1820年)という年号が染め抜かれており、西塩子の回り舞台が日本最古の組立式舞台とされる由来となっています。これらの舞台道具のうち、幕末から江戸時代に作られ、舞台の背景として使われるフスマを展示しました。

現在の公演では新調されたフスマが使用されてお

り、県の有形民俗文化財にも指定されているこれらの古いフスマを見ることはできません。

また、市内にはかつて舞台道具を所持していた地区が7か所確認されており、そのうち、下檜沢と下小瀬の舞台道具の本床(チョボ)や大幕を展示しました。

下小瀬の紺屋長山氏が染めた江戸時代後半の大幕は、専門家も驚くほどの出来栄で、200年を経てもその技術の高さで見の人を引き付けていました。秋の澄んだ空気のもと、多くの市民の皆さんにご覧いただくことができ、よい虫干しの機会となりました。



▲西塩子の回り舞台のフスマ



▲下小瀬の大幕

常陸大宮市の人口

(11月1日現在・推定常住者)

総人口 39,847人 世帯数 16,058世帯
(男 19,644人 女 20,203人)



広報 常陸大宮 11月 第182号

発行日 令和元年11月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。